

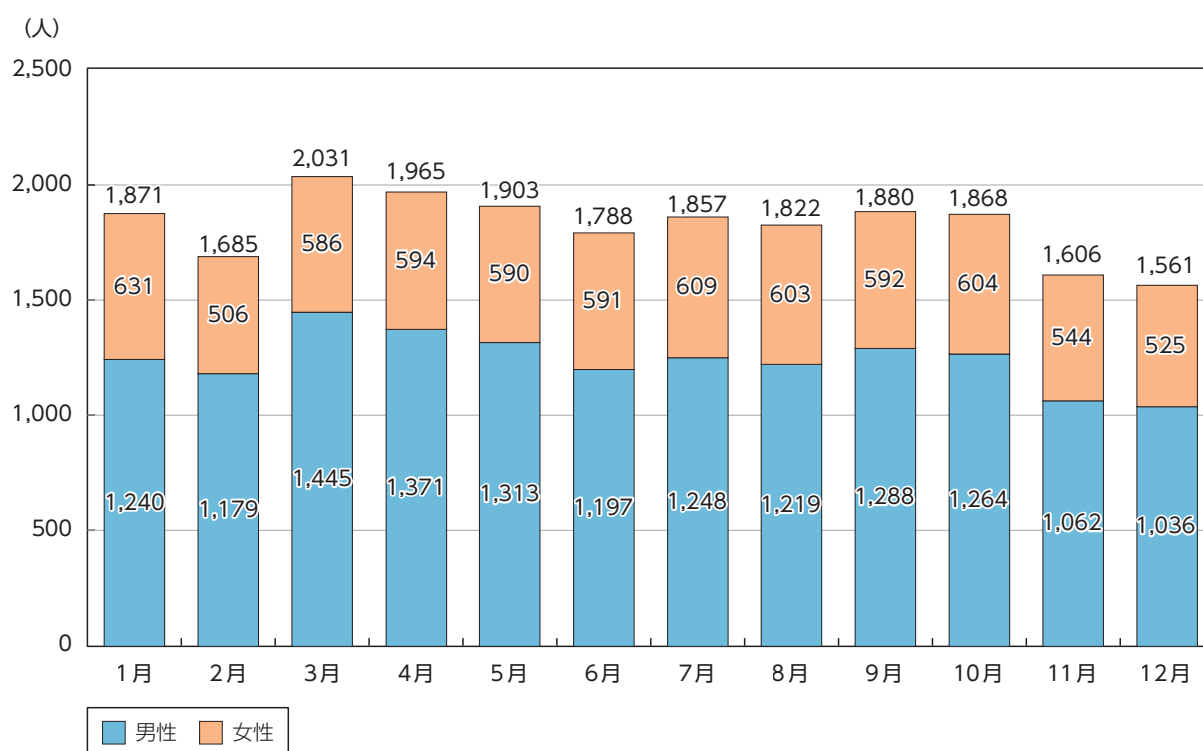
4 令和5年の月別・曜日別の自殺の状況

(1) 令和5年の月別の自殺の状況

令和5年の自殺者数を月別にみると、「3月」(2,031人)が最も多く、「12月」(1,561人)が最も少なかった。男女別にみると、男性は「3月」(1,445人)、女性は「1月」(631人)が最も多かった。次いで、男性は

「4月」(1,371人)、「5月」(1,313人)が多く、女性は「7月」(609人)、「10月」(604人)、「8月」(603人)が多かった。また、男性は「12月」(1,036人)が最も少なく、女性は「2月」(506人)が最も少なかった(図表1-23)。

図表1-23 令和5年の月別自殺者数

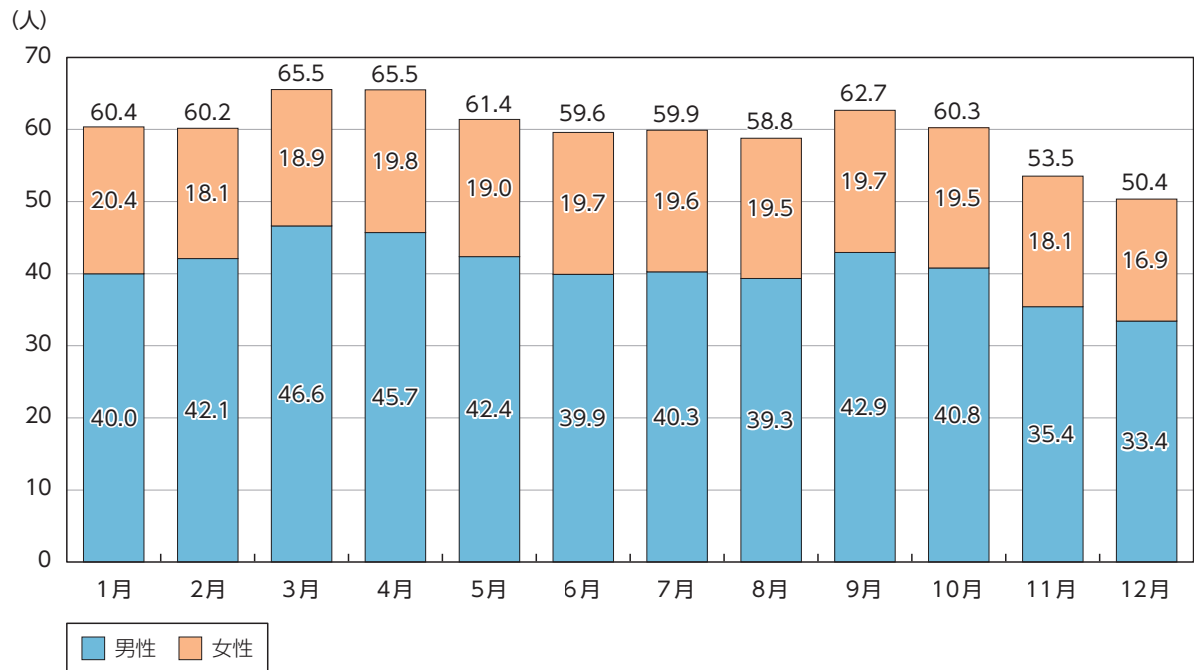


資料：警察庁自殺統計原票データより厚生労働省作成

月別に1日当たりの平均自殺者数をみると、「3月」及び「4月」が65.5人と最も多

く、男性は「3月」の46.6人、女性は「1月」の20.4人が最多となった（図表1-24）。

図表1-24 令和5年の月別1日平均自殺者数

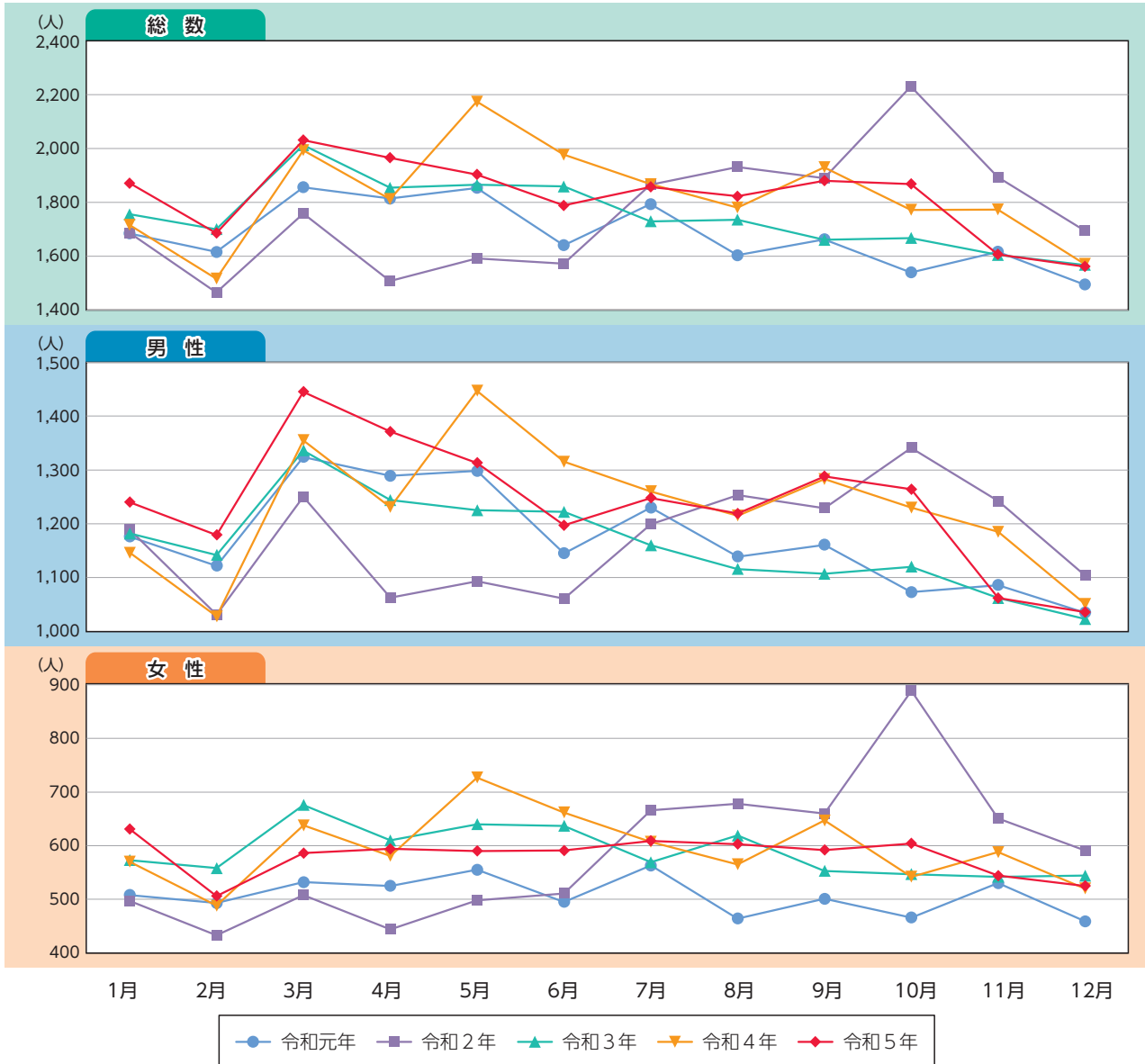


資料：警察庁自殺統計原票データより厚生労働省作成

令和5年の月別自殺者数を直近5年で比較すると、「1月」、「3月」及び「4月」は、それぞれ直近5年の同月比較で最多であった。一方で、最少であった月は一つもなかつ

た。男女別にみると、男性は「1月」から「4月」まで及び「9月」が直近5年の同月比較で最多であった。女性は「1月」が同じく最多であった（図表1-25）。

図表1-25 月別自殺者数の推移（5年比較）



資料：警察庁自殺統計原票データより厚生労働省作成

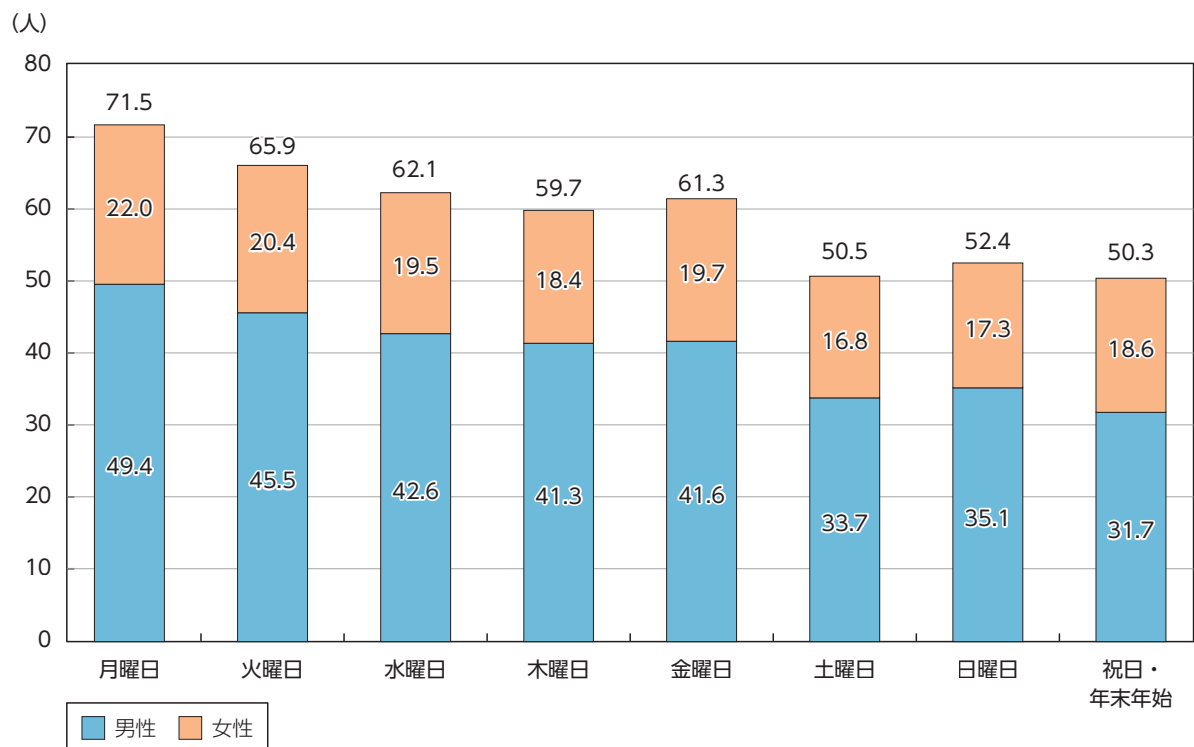
(2) 令和5年の発見曜日別の自殺の状況

令和5年の自殺者数を1日平均に調整した発見曜日別にみると、「月曜日」が最も多く71.5人、「土曜日」が最も少なく50.5人であった。また、「日曜日」が52.4人と2番目に少なく、「祝日・年末年始」でみても50.3人と、平日と比べて休日が少ない傾向であっ

た。

男女別にみても、男女ともに「月曜日」が最も多くそれぞれ49.4人、22.0人、「土曜日」が最も少なくそれぞれ33.7人、16.8人であった。なお、「祝日・年末年始」については男性が31.7人、女性が18.6人であった（図表1-26）。

図表1-26 令和5年の発見曜日別1日平均自殺者数



※月曜日～日曜日に祝日・年末年始は含まない。

資料：警察庁自殺統計原票データより厚生労働省作成